

保育を高める研究集会 開催要項

青森県青森市で開催を予定していた「保育を高める研究集会」は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、オンライン開催となりました。

今回のテーマは青森県支部で企画された『保育が変える 子どもの未来～今、保育のなぜを科学する～』です。戦後の長く続いた知識基盤社会からスマート社会へ変動していく中、子どもたちの未来そして日本社会の未来を変えていくのは、「保育の力」だと考えます。そして、その未来を創造する力とともに、「今、保育のなぜを科学」することが必要です。未来を担う中心に保育を位置づけるために「保育を高める研究集会」をオンラインで開催し、「未来と今」を参加者の皆さまと共に考えてまいりたいと思います。会員の皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

- 主催** 社会福祉法人 日本保育協会／社会福祉法人 日本保育協会 女性部
- 配信日** 令和4年6月30日(木)・7月1日(金)
- 対象** 保育所(園)長、認定こども園等の園長、保育士・保育教諭等の保育者等
※施設ごとの申込みです。申込方法は4頁「参加申込みについて」をご確認ください。
- 参加費** 9,000円
- 実施方法** オンラインによるライブ配信
※動画配信ですので、ご受講にはインターネット環境、パソコン等が必要です。
※動画配信は「Zoomウェビナー」を使用する予定です。
※終了後、期間限定の再配信を予定しております。

日程表

時間	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
日程	20 30	30 40		30		20 30		20 30	
6月30日(木)				受付	開会式	基調講演	休憩	シンポジウム	案内
7月1日(金)	案内	行政説明	休憩	パネルディスカッション	休憩	保育実践発表	休憩	特別講演	閉会式

1日目：6月30日(木) (12時30分～16時30分)

開会式 12時30分～13時00分

開会挨拶：大谷 泰夫 (日本保育協会 理事長)

主催者挨拶：山内 五百子 (日本保育協会 女性部部長)

基調講演 13時00分～14時20分

『保育が変わる 子どもの未来』

講師：大豆生田 啓友氏 (玉川大学 教授)

3つの資質・能力や10の姿の先にあるのは、自立と深い学びとともに協働する主体性なのではないでしょうか。未来のためには、今の保育をどう考え、どう質の向上を図っていくのか大切なのかを考えて行く必要があります。「保育者と研究者」として深い考察をする大豆生田先生のお話を聞きながら、今後の保育を一緒に考えましょう。



シンポジウム 14時30分～16時20分

『今、保育のなぜを科学する』

◆シンポジスト

大方 美香氏 (大阪総合保育大学 学長)

大豆生田 啓友氏 (玉川大学 教授)

北野 幸子氏 (神戸大学大学院 教授)

◆コーディネーター

坂崎 隆浩氏 (社会福祉法人清隆厚生会 理事長／
こども園ひがしどおり 園長)

保育の質の検討がなされている、今、保育を科学していく事は大きな課題です。基調講演に登場していただいた大豆生田先生に加え、保育を科学する研究者の第一人者の北野幸子先生、大阪総合保育大学学長の大方美香先生をシンポジストに迎え、「今、保育のなぜを科学」していただきます。



大方 美香氏



北野 幸子氏

2日目：7月1日(金) (9時30分～16時20分)

行政説明 9時30分～10時30分

講師：林 俊 宏 氏 (厚生労働省 子ども家庭局 保育課 課長)

パネルディスカッション 10時40分～12時00分

『2030年「10年後の保育制度はどうあるべきか」』

講師：塚 本 秀 一 氏 (全国私立保育連盟 副会長／事務局長)

講師：森 田 信 司 氏 (全国保育協議会 副会長)

進行／講師：高 橋 英 治 氏 (日本保育協会 理事)

2015年(平成27年)子ども・子育て支援新制度に始まり、法人改革、処遇改善、幼児教育・保育の無償化、連携推進法人など大きな制度の変更が毎年進んでいます。新制度後、複雑化している保育制度を、現在から10年後の2030年には、どうあるべきかを考える時に来ています。保育三団体を代表する論客をお迎えし、今後の保育制度の姿をご検討願いたいと思います。

保育実践発表(日本保育協会女性部) 13時00分～14時20分

発題者：富 田 直 子 氏 (阿武山たつの子認定こども園／近畿ブロック)

発題者：竹 島 香 菜 氏 (江平保育園／九州ブロック)

助言者：大 方 美 香 氏 (大阪総合保育大学 学長)

日本保育協会女性部近畿ブロックと九州ブロックのそれぞれから1園ずつ、「子どもの「やりたい」を実現する環境を求めて～発表会25年のあゆみ～」(近畿ブロック)と「運動あそび」(九州ブロック)について実践発表をしていただきます。大阪総合保育大学の大方美香先生に助言者を務めていただき、各テーマについて深めていきたいと思います。

特別講演 14時30分～16時00分

『私たちは子ども・子育ての真の味方になれるか』

講師：村 木 厚 子 氏

(津田塾大学 客員教授／元厚生労働省 事務次官)

高知県高知市出身。津田塾大学客員教授。厚生労働省にて、2008年に雇用均等・児童家庭局長を務めた後、内閣府政策統括官、厚生労働省社会・援護局長を歴任し、2013年7月～2015年9月まで女性2人目の厚生労働事務次官を務めた。退官後は伊藤忠商事取締役、住友化学取締役、SOMPOホールディングス監査役、コニカミノルタアドバイザー、大妻学院理事等に就任。現在の子ども子育て支援制度の構築者でもある氏に当時の保育に対する思いや今後の保育への期待を拝聴したいと思います。



閉会式 16時00分～16時10分

閉会挨拶：川 鍋 慎 一 (日本保育協会 常務理事)

参加申込みについて

<p>参加申し込み方法</p>	<p>参加申込みは専用サイトよりお申し込みください。 http://www.mwt-mice.com/events/2022takameru</p> <p>参加申込み締め切り 令和4年6月16日(木)</p> <p>■申し込み完了された方には、登録いただいたメールアドレス宛に参加登録完了のご案内をお送りします。</p> <p>注1：申込後、24時間以内に申込完了メールが届かない場合には、名鉄観光サービス(株)MICEセンターまで必ずご連絡ください。なお、申込完了メールに振込案内を記載しておりますので必ずご確認ください。</p> <p>注2：お使いのパソコン・スマートフォン等の設定でメールの受信拒否設定をされている方は、@mwt.co.jpドメインからのメールが受信できるようにあらかじめ設定してください。</p> <p>■申込み登録操作方法は、専用サイトのトップページをご確認ください。</p> <p>■令和4年6月16日(木)までの変更・キャンセルは参加者ご自身にて専用サイトからお手続きを行ってください。</p> <p>■令和4年6月17日(金)以降の変更・キャンセルは、参加申込み専用サイトトップページ問い合わせフォームまたは名鉄観光サービス(株)MICEセンターまでご連絡ください。</p>
<p>参加費等の振込および当日参加までの流れ</p>	<p>■令和4年6月23日(木)までに参加費をお振込みください。なお、振込先等のご案内は申込完了メールに記載しております。参加費入金後のキャンセルについては返金対応いたしかねますのでご了承ください。</p> <p>■ご入金確認後、登録いただいたメールアドレス宛に6月27日(月)を目途にご視聴に関するご案内をお送りいたします。ご視聴はZoomとなる予定です。資料は掲載URLから各自でダウンロードをお願いいたします。資料の郵送は行いません。</p> <p>■研究集会当日はご案内したURLからご入室ください。 (受付は1日目 12時～12時半、2日目 9時～9時半予定)</p>
<p>留意事項</p>	<p>■本会の録音・録画、撮影、転用、および資料の複写・転載等を固く禁止します。</p> <p>■システムトラブル、通信環境・接続の不具合等により当日参加ができなかった場合には、後日の再配信視聴をご利用ください。</p> <p>■個人情報の取り扱いについて 参加のお申込みにあたりご提供いただいた情報は、本会の運営・管理の目的に限って使用いたします。なお、申込受付及び配信業務を委託する名鉄観光サービス(株)MICEセンターには、上記目的のため、情報を共有させていただきます。</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>■本会の参加申込み・お支払い等に関するお問い合わせ先 名鉄観光サービス(株)MICEセンター 保育を高める研究集会 受付係まで 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2(新霞が関ビル内) TEL：03-3595-1121 (受付時間：9時30分～17時30分 ※土日祝除く) E-mail：mice@mwt.co.jp</p> <p>■本会のプログラム等、内容に関するお問い合わせ先 社会福祉法人 日本保育協会 研修部 〒102-0083 東京都千代田区麹町1-6-2 麹町一丁目ビル6階 TEL：03-3222-2115 (受付時間：9時～17時) E-mail：kensyu@nippon.or.jp</p>

